

# 竹林と竹材の利活用

NPO 法人 日本ボーイスカウト浜松第 15 団 VS 隊長 寺田智成

竹林と竹材をバランスよく活用することが出来れば、竹林を維持したまま放置竹林は解消できるとの目標を設定し竹林整備を続けるボーイスカウトの活動を報告します。

## 1 整備前の状況と現在の状況

足の踏み場もない状況から、イベントが実施できる安全な竹林になりました。（図 1、2）



図 1 2017 年の状況



図 2 2021 年の状況

## 2 活動している竹林

静岡県浜松市北区引佐町井伊谷にある龍谷山・正泉寺内の竹林  
1554 年（天文 23 年）室町時代に開山の古刹です。

## 3 正泉寺との御縁

由緒ある正泉寺さんとの御縁は第 6 期・天竜地域森林円卓会議「里山の竹林を考えよう」に森づくり団体として参加した際、ワークショップで住職さんと同席し、ボーイスカウトならこのような形の竹林整備をしていくと思いますと提案させていただいたのが始まりでした。

## 4 竹林整備開始

御縁を活かして円卓会議の翌年からボーイスカウトのできる地域への社会貢献として正泉寺の竹林整備を始めました。

目的「放置竹林の解消」

目標「訪れた人が見て綺麗だなと思える竹林」

「子供たちが遊べる竹林」

## 5 竹林整備に活用した文献

竹林整備を進めるにあたり、静岡県のホームページから、「竹林整備読本」「竹林整備ハンドブック」の 2 冊をダウンロードして活動の参考にさせていただきました。

## 6 竹林整備の担い手

竹林整備の実働部隊となるのは、社会貢献をしてくれる大学生や高校生、お寺の檀家さん、「小さな親切」運動を実施している静岡銀行さんとその仲間たちなどです。

最近では竹細工を趣味とする方が竹資材を分けて欲しいので竹林整備をお手伝いしますということで仲間が増えました。

活動時の注意事項は「安全を第一に考えて、無理な作業はしない」です。

## 7 竹材の活用

竹林整備が進んでも、竹林は生きていますから資材は溜まる一方です。解消するためには活用先（出口）探しが重要です。

### (1) 野営工作

ボーイスカウトのスキル（ロープワーク）を活用したクラフト作り。

### (2) 大型工作物

人の何倍もある大型工作物も竹資材があればチャレンジできます。

他団体にも竹資材の入手先としてアピールしています。（図3）

### (3) 季節の行事

七夕飾りに使う竹を探していた保育園さんに必要数をお聞きして提供しました。（図4）

環境教育での訪問先でも竹資材をアピールしています。



図3 大型工作物製作中



図4 七夕まつりの様子

### (4) 燃料としての活用

保育園さんの活動で竹を燃料としてピザを焼きました。竹は加工が容易で高出力、短時間の料理には適しています。

### (5) 防潮堤植樹のマルチング

遠州灘防潮堤の植樹時に苗木の乾燥防止や防草を目的として活用しました。機能低下後は緩効肥料として役目を全うしてくれました。

### (6) 園芸資材としての活用

竹林整備や竹資材の話が近隣住民の方々に徐々に広まり、興味を持った方が訪れるようになりました。その方々のニーズをお聞きして必要な資材を提供するようにしています。遠方からの資材購入を考えていた方もいらっやって、お役に立っています。

### (7) 竹材活用あれこれ

使えると思われるものは、全てチャレンジして使っています。大きいものから、余ったら小さいものへ、最終的には竹チップや竹炭、灰の活用まで、捨てることはありません。

竹材	竹炭	竹チップ	タケノコ
クラフト	土壌改良材	土壌改良材	食材
食器	水質浄化	マルチング	体験活動
炊具	消臭剤	肥料	食育教育
各種生活資材	マルチング	カブトムシ用資材	こども食堂

## 8 竹林の活用

### (1) カブトムシ牧場

竹チップはカブトムシの幼虫の棲家です。9月から4月までは幼虫狩りができます。

お分けした竹チップと幼虫で、ミニカブトムシ牧場を作って観察をしている保育園さんもあります。立派な成虫に羽化したとの報告も頂きました。(図5)

### (2) 掘って食べよう絶品！焼きタケノコ

タケノコ掘りと掘りたてをその場で食す体験を開催しました。街中の協働センターさんとのコラボ企画で、受付開始即満員御礼の人気企画です。

街中の人のW初体験、竹の色々な事が知れた、タケノコが食べられるようになったなど嬉しいコメントを沢山頂戴しました。(図6)



図5 カブトムシ牧場で幼虫探し



図6 タケノコ掘りの様子

### (3) 竹林キャンプ

竹林整備が進みキャンプが安全にできる環境になりました。竹林キャンプは資材が豊富にあるのでキャンプの荷物が減らせます。必要な物は竹から作り出してしまえばいいのです。

キャンプスキルは災害時にも活かれますので昨今のキャンプブームに竹林キャンプも流行らせたいと思っています。

### (4) 竹林活用あれこれ

秘密基地やフリーパークなど、多目的な活用が出来る綺麗で安全な竹林を今後も維持していきます。

体験活動	キャンプ	森づくり
環境教育	野営工作	竹林整備
食育教育	野外料理	竹林整備体験
森林環境教育	防災教育	資機材取り扱い講習
野外活動安全教育	パイオニアリング	安全講習会
クラフト体験	サバイバル訓練	企業のCSR活動
農林福祉連携体験	ぼっちキャンプ	学校、学生の奉仕活動

## 9 サステナブルの輪

竹材を土壌改良材として使用した実験畑（図7）の土の団粒構造化が少しずつ進み、作物が採れるようになってきました。土の力だけで育てた無農薬無肥料の安全野菜を社会福祉協議会さんに贈呈（図8）しました。こども食堂で活用してくれるそうです。

持続可能な竹林を目指した取り組みが、他の持続可能な取り組みの役に立つことができる。循環型社会構築の理想的な姿が見えてきました。



図7 畑の土と作物



図8 贈呈式

## 10 竹林整備とSDGs

自然の中での自然を活用した活動であり、社会的に問題とされている放置竹林の解消に向けた活動になるので、あえて目標を設定しなくても活動の一つ一つがSDGsの目標とリンクしていることになります。

これからSDGsの目標達成に向けて取り組みをする団体、個人、企業の方々で何をしたらよいかわからない人は、近隣の放置竹林の整備を始めたらいと思います。

### 11 よそ者が火をつける

ボーイスカウトが、知らない人が、竹林整備を進めている。

暗くて壁のような竹林の向こうに、光が見えてきた。景色が見えてきた。

行ってみるか、俺たちもやるか

竹林のまわりでは、そんな機運が高まってきました。

### 12 まとめ

竹林と竹材を作る人と使う人の需要と供給のバランスがとれば放置竹林はなくなります。

見放された竹林も必要とする人から見れば宝が置いてある宝置竹林となります。